闘いなくして安全なし

2026.11.12
No. 567

〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
https://dorocshien.stars.ne.jp/
info@doro-shien.site

JR東「詐欺雇用」をNTTが制度化

10万人対象にグループ間異動

ＮＴＴはグループ会社間での従業員の転籍を制度化し、国内の従業員の過半に当たる10万人を対象にすると発表しました。「自身のスキルや経験、キャリア志向を自ら登録」「スカウト制度」「人材流動性を高めることで戦略分野に重点的に配置」と打ち出され、「社内労働市場を作る」などと論じられています。

「転籍強制」「解雇自由」への攻撃

これは経団連が25年版経労委報告で、「内部労働市場と外部労働市場がシームレスに接続した社会を作る」とした内容そのものです。

「社内労働市場」というとき、「若手は転職前提だから労働者のため」のようにも語られています。

しかし、その狙いは、会社の都合でいつでも「転籍を強制」「自由に解雇＝『転職』強制」できるようにすることです。「雇用契約を結んでも、就活中の労働者と何ら変わらないと思え」「いつでも放り出せる」ということです。

絶対に許すことはできません！

雑誌『選択』で暴露された喜勢社長発言

○「（ＪＲで多く採用して）**出向でグループ会社やパートナー会社を回していく**のも考え」

○「**頭数がいない**から、どこかで採って回していくしかない」

→「グループ会社で採用できない」から「ＪＲ東日本」の看板で採用した後に即出向！？まさに「詐欺雇用」だ！

ＪＲ東の「詐欺雇用」許すな

そして、ＪＲ東が狙う「詐欺雇用」を具体化したものです。雑誌『選択』では喜勢社長の、「グループ会社の要員不足をＪＲ東で雇った労働者を出向させて埋めよ」という発言が暴露されています。

ＪＲ東は「社員が主役」などとコメントし、経営ビジョン「勇翔２０３４」には、「グループ社員の働きがいと成長の実感」「新たな挑戦を通じた成長」「社員の活躍フィールドの拡大」などと書いています。

しかし、会社に「社員のため」のようなつもりがないことは明らかです。本音は「社員は備品の一つ」「勤務地も業務内容もすべて会社の自由にさせろ」ということです。

会社は人事・賃金制度の抜本的改悪、融合化、検修業務の全面外注化、全路線的なワンマン化など許しがたい攻撃をいくつも進めています。この攻撃と対決し、鉄道の安全と仲間の権利を守る力は職場からの団結した声と闘いです。今こそ職場に闘う労働組合を取り戻そう。